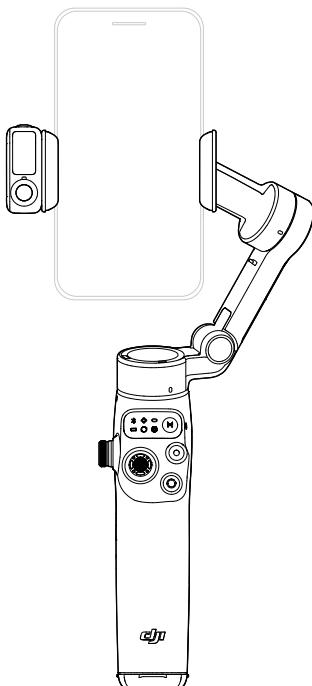


dji OSMO MOBILE 8

ユーザーマニュアル

v1.0 2025.11





本書は、DJI の著作物であり、すべての権利は DJI に帰属します。DJI から別途許可されていない限り、本書の複製、譲渡、販売を行ったり、本書または本書の一部を使用、または他の人に使用を許可したりすることはできません。ユーザーは、本書とその内容を DJI 製品の操作に関する指示を参照する目的にのみ使用してください。本書を他の目的で使用しないでください。言語版によって相違がある場合には、英語版が優先されます。

Q キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探すことができます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書をお読みの場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始できます。

↳ 任意のトピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

☞ 本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

▲重要

※ヒントとコツ

☞参考

ご使用前にお読みください

DJITMは、チュートリアルビデオと次のドキュメントをご用意しています。

1. 『安全ガイドライン』
2. 『クイックスタートガイド』
3. 『ユーザーマニュアル』

すべてのチュートリアルビデオの視聴をお勧めします。初回使用前に、『安全に関するガイドライン』をお読みください。初めて使用する前に、必ず『クイックスタートガイド』を確認し、詳細について『ユーザーマニュアル』を参照してください。

チュートリアルビデオ

以下のアドレスにアクセスするか QR コードをスキャンすると、チュートリアルビデオを視聴でき、製品の安全な使用方法を知ることができます：



<https://www.dji.com/osmo-mobile-8/video>

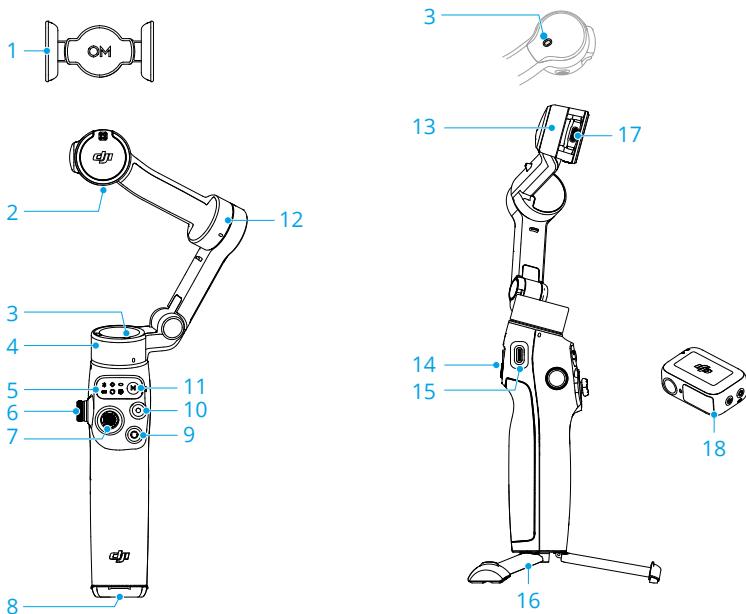
目次

本マニュアルの使用方法	3
凡例	3
ご使用前にお読みください	3
チュートリアルビデオ	3
1 製品の特徴	6
1.1 Osmo Mobile 8	6
1.2 多機能モジュール	7
2 初めてのご使用にあたって	8
2.1 充電	8
2.2 折りたたんだ状態から広げる	8
2.3 スマートフォンの取り付け	9
2.4 DJI Mimo アプリへの接続	10
2.5 フームウェアの更新	11
3 基本機能	12
3.1 ボタンとポート	12
3.2 インジケーター	14
3.3 グリップジェスチャー	16
3.4 フォローモード	18
3.5 自動パンとロール	19
3.6 スマートフォンの充電	20
3.7 ストレージ	21
4 高度な機能	22
4.1 多機能モジュール	22
取り付けと取り外し	22
トラッキングと撮影	23
トラッキング	24
撮影	25
補助照明	26
ワイヤレスマイクとの接続	27
スマートフォンの充電	28
インジケーター	28
フームウェアの更新	29
4.2 Apple DockKit トラッキング	29
4.3 スマートウォッチでリモート制御	32
5 メンテナンス	33

6 付録	34
6.1 仕様	34
6.2 スマートフォンの互換性	34

1 製品の特徴

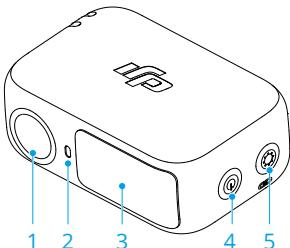
1.1 Osmo Mobile 8



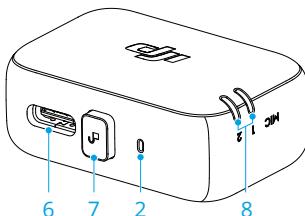
- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 磁気スマートフォンクランプ | 10. シャッター／録画ボタン |
| 2. カウンターウェイト取り付け穴 | 11. 電源／M ボタン |
| 3. 機能ステータスインジケーター | 12. チルト軸モーター |
| 4. パン軸モーター | 13. ロール軸モーター |
| 5. ステータスパネル | 14. トリガー |
| 6. サイドホイール | 15. 充電ポート (USB-C) |
| 7. ジョイスティック | 16. 内蔵三脚 |
| 8. 1/4-20 UNC ポート | 17. 出力ポート (USB-C) |
| 9. 切替ボタン | 18. DJI OM 多機能モジュール |

• DJI OM 多機能モジュールを以下「多機能モジュール」といいます。

1.2 多機能モジュール



1. トラッキングカメラ
2. カメラ ステータス インジケーター
3. 補助照明
4. 明るさ制御ボタン
5. 色温度制御／Bluetooth ペアリングボタン

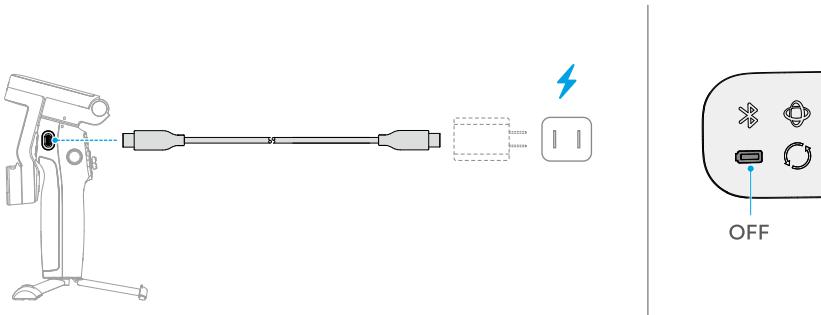


6. 音声データ／スマートフォン充電ポート (USB-C)
7. リリースボタン
8. ワイヤレスマイク ステータス インジケーター

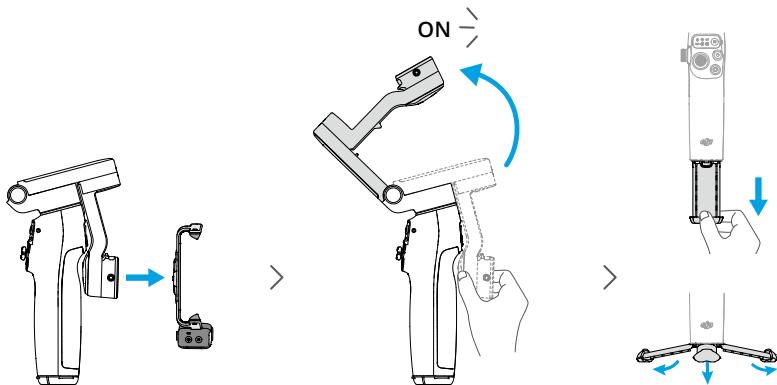
2 初めてのご使用にあたって

2.1 充電

バッテリーが完全に充電されると、バッテリー残量インジケーターは消灯します。

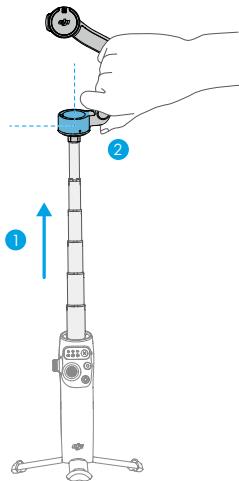


2.2 折りたたんだ状態から広げる

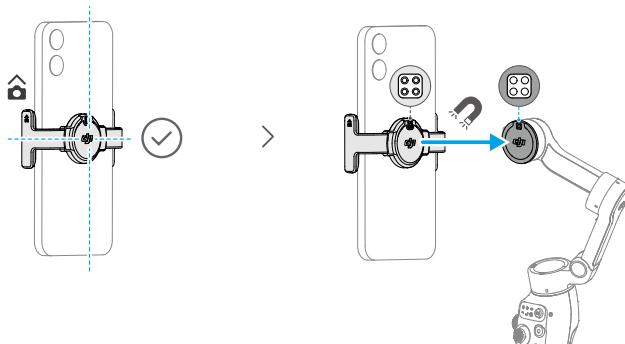
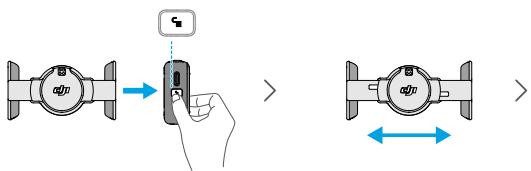


- 💡 • 内蔵の三脚は、無風環境下で、安定した水平面での使用に適しています。その他の条件下では、ジンバル底部に DJI OM グリップ式三脚（別売り）を取り付けることをお勧めします。

内蔵の延長ロッドを伸ばす場合は、必ずパンモーターが地面と水平になるように調整してください。これにより、スマートフォンをジンバルに取り付けた後のバランスを保つことができます。



2.3 スマートフォンの取り付け



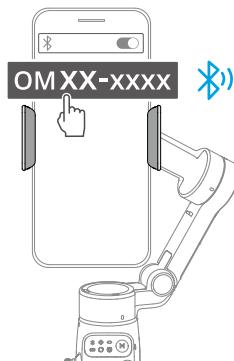
ジンバルモードライト (◆/○/●/○) が点灯している場合は、ジンバルがスマートフォンを安定させていることを示しています。スマートフォンを装着した後にもライトが点灯しない場合は、M ボタンを押してブレ補正機能を有効にしてください。

2.4 DJI Mimo アプリへの接続

1. QR コードをスキャンして、DJI Mimo アプリをダウンロードしてください。



2. スマートフォンで Bluetooth を有効にして、DJI Mimo を開き、ジンバルに接続します。



-
- 図
- DJI Mimo がサポートする Android と iOS のオペレーティングシステムのバージョンを確認するには、<https://www.dji.com/downloads/djiapp/dji-mimo> をご覧ください。

- DJI Mimo のインターフェースおよび機能は、ソフトウェアのバージョンが更新されると変わる場合があります。実際のユーザーエクスペリエンスは、使用するソフトウェアのバージョンによって異なります。

💡 Bluetooth 接続に失敗した場合、以下の手順を試してください。

- スマートフォンの Bluetooth 設定に進みます。ジンバルとの既存の接続をすべて削除し、デバイスを消去します。
- ジンバルの Bluetooth をリセットします。
- Bluetooth 設定で新しいデバイス名をタップします。接続が完了したら、DJI Mimo を再起動します。

2.5 ファームウェアの更新

新しいファームウェアが利用可能になると、DJI Mimo にプロンプトが表示されます。プロンプトをタップし、画面上の指示に従って、ファームウェアを更新してください。

アップデートの前に、バッテリー残量インジケーターが緑色に点灯していることを確認してください。更新中は、DJI Mimo を終了しないでください。

もし更新に失敗した場合は、DJI Mimo を再起動して、Bluetooth 接続を再確立してから、再試行してください。

3 基本機能

3.1 ボタンとポート

次の機能は、DJI Mimo をベースとしています。システムカメラの特定の機能のサポートは、スマートフォンのモデルによって異なる場合があります。詳細については、<https://www.dji.com/osmo-mobile-8> でご確認ください。

電源/M ボタン

電源オフ時

ジンバルを折りたたんだ状態で、1 回押す：バッテリー残量を確認

ジンバルを展開した状態で、1 回押す：電源をオン

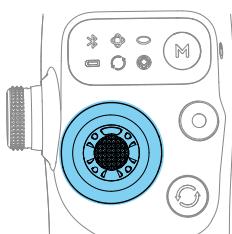
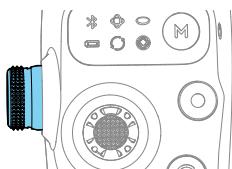
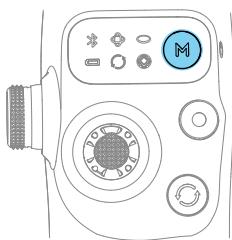
電源オン時

1 回押す：ジンバルモードの切り替え

3 回押す：スタンバイモードを開始。（終了するには任意のボタンを押します）

長押し: 電源オフ

* M ボタンは、ジンバルまたは多機能モジュールを使用して、スマートフォンの充電を制御することもできます。



サイドホイール

1 回押す：フォーカス、ズーム、またはジョイスティックズームモードの切り替え

回転：フォーカスまたはズームを調整

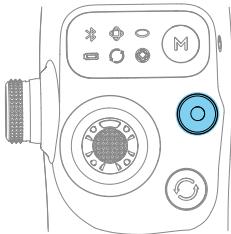
ジョイスティックズームモードでは、ジョイスティックを垂直に動かしてズームを制御します。

* サイドホイールを多機能モジュールとともに使用すると、[補助照明を制御](#)することができます。

ジョイスティック

スマートフォンを水平方向に動かしてパンさせたり、垂直方向に動かしてチルトさせます。ジョイスティックの制御方向は DJI Mimo で設定できます。

ジョイスティックを左右に 2 回プッシュすると、[ジンバルが自動的に回転します](#)。



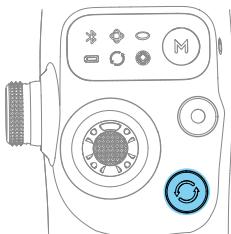
シャッター／録画ボタン

カメラビューで 1 回押す：写真を撮影するか、録画を開始/停止します。

他のビューで 1 回押す：カメラビューに戻ります。

2 回押す：録画中に写真を撮影します。

長押し：バースト撮影をします（写真モード時）。



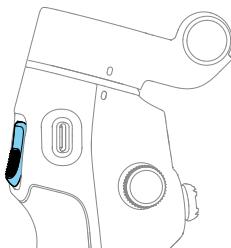
切替ボタン

1 回押す：前面と背面のカメラを切り替えます。

2 回押す：ランドスケープモード（横向き）とポートレートモード（縦向き）を切り替えます。

3 回押す：写真モードと動画モードを切り替えます

長押し：再生を表示



トリガー

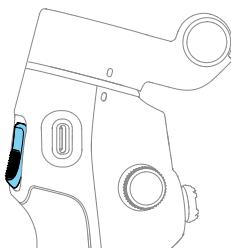
1 回押す：ActiveTrack を起動または停止します

2 回押す：ジンバルを再センタリングします

3 回押す：スマートフォンを水平方向に 180 度回転させます

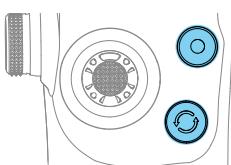
1 回押してから長押し：フォロー速度を高速モードに調整します。離すと終了します。

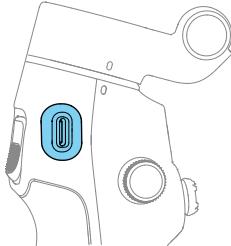
長押し：ロックモードになります。離すと終了します。



組み合わせ操作

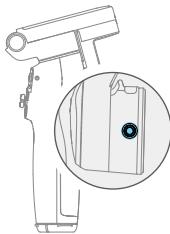
切替ボタン、シャッター／録画ボタン、トリガーを 1 秒以上同時に押すと、Bluetooth の名前と接続がリセットされ、再接続を行います。





充電ポート（USB-C）

ジンバルの充電

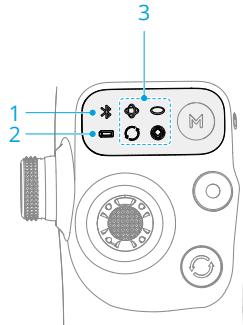


カウンターウェイト取り付け穴

スマートフォンに重いレンズモジュールまたはレンズフィルターが取り付けられている場合のカウンターウェイトの取り付け用。

* カウンターウェイトを購入するには、公式テクニカルサポートにお問い合わせください。

3.2 インジケーター



1. システムステータスインジケーター

＊ 緑色点滅 Bluetooth 未接続

＊ 緑色点灯 Bluetooth 接続状態

2. バッテリー残量インジケーター

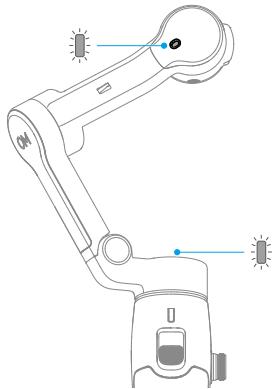
■ 素早い赤色点滅 5%以下

	赤色点灯	6%～19%
	黄色点灯	20%～60%
	緑色点灯	60%～100%

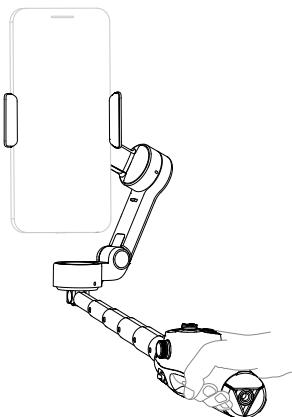
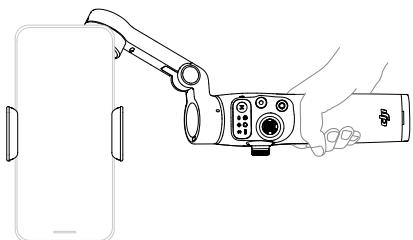
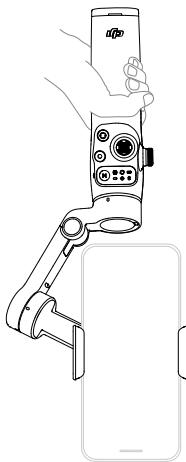
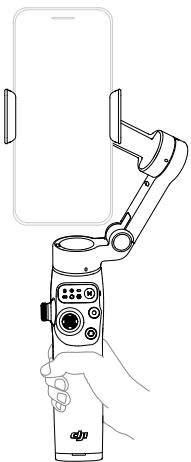
3. ジンバルモードインジケーター

	オン	PTF
	オン	PF
	オン	FPV
	オン	SpinShot
	交互に点滅	ファームウェアの更新中
	同時に点滅	ファームウェアのアップデートに失敗、または異常な状態

4. 機能ステータス インジケーター

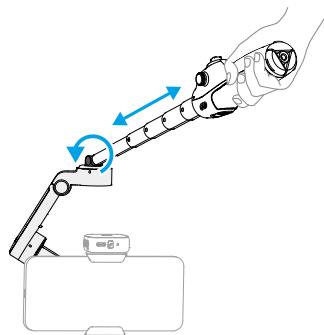


3.3 グリップジェスチャー



- 💡 • グリップジェスチャーは、ランドスケープ（横位置撮影）とポートレート（縦位置撮影）の両方に適用されます。
- 内蔵三脚が伸びている場合は、ハンドルを握って、安定性を確保します。三脚だけを握らないようにしてください。

- Osmo Mobile 8 に内蔵されたエクステンションロッドはローアングル撮影に使用できます。チュートリアル動を視聴するにはクリックしてください。



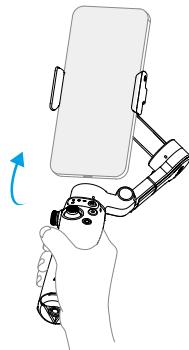
3.4 フォローモード

クリックして、チュートリアルビデオを視聴してください。

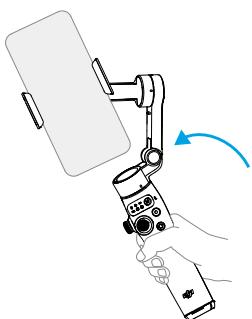
フォローモード	効果
PTF (パン&チルトフォロー) ☀	①+②
PF (パンフォロー) ⚪	①
FPV (パン、チルト、ロールフォローモード) ☀	①+②+③
スピンドット ⚪	①+②+③+④
ロック	スマートフォンは、ハンドルの動きに追従しません



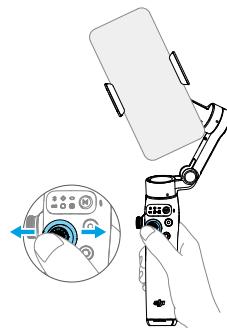
①ハンドルを水平方向に回転させると、スマートフォンもそれに追従します
②ハンドルを前後に振ると、スマートフォンもそれに追従します



に追従します

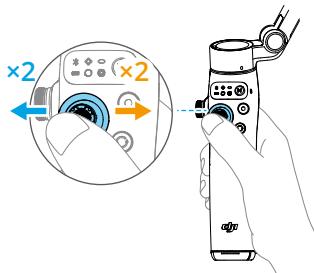


③ハンドルを垂直方向に回転させると、スマートフォンもそれに追従します
④ジョイスティックを左右に動かすと、スマートフォンが垂直方向に回転します



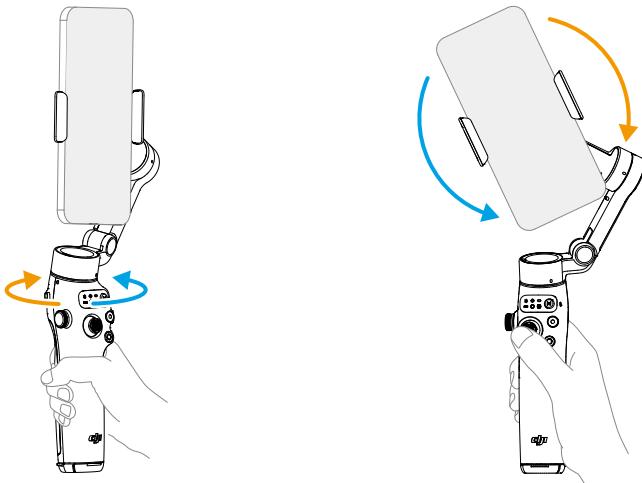
3.5 自動パンとロール

ジョイスティックを左右に2回プッシュすると、ジンバルが各フォローモードで自動的にパンまたはロールします。



PTF ⚡ / PF ⚡ / FPV ⚡

スピニッシュット ⚡



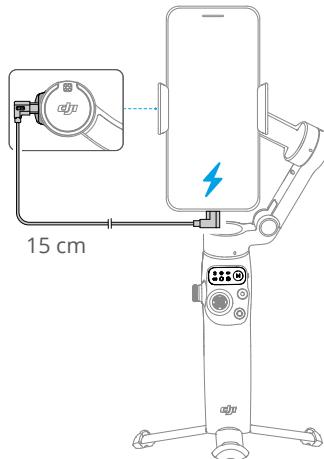
360°自動/パン

ジンバルの限界に達すると回転が停止します。

トリガーを2回押すと、回転が停止し、ジンバルが中央に戻ります。

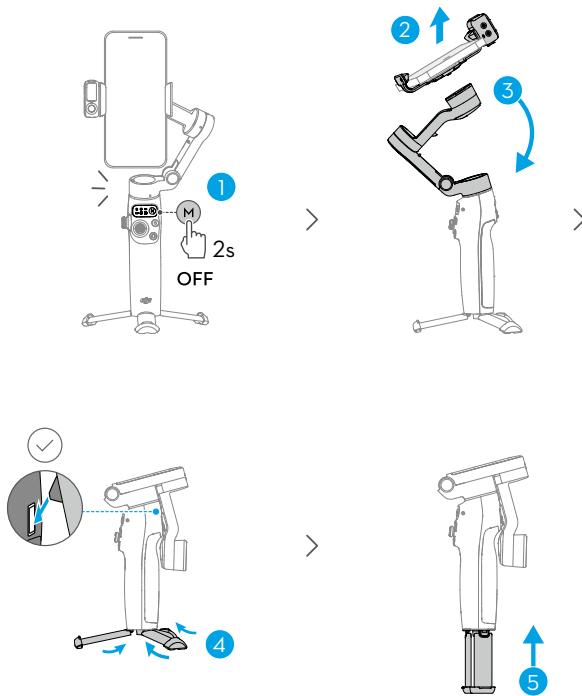
3.6 スマートフォンの充電

- 💡 • ジンバルが十分に充電されていることを確認してください（インジケーターが  または  を表示します）。



3.7 ストレージ

- 💡 • Osmo Mobile 8 の場合、次の手順を行う前に、延長ロッドを格納します。
- ジンバルの電源が切れると、自動的に折りたたみ位置に回転します。スマートフォン、スマートフォンクランプ、および多機能モジュールと一緒に取り外します。次回の使用では、それらを全体として取り付けて、ジンバルを広げて撮影を開始できます。



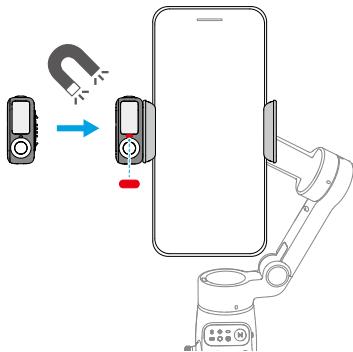
4 高度な機能

4.1 多機能モジュール

取り付けと取り外し

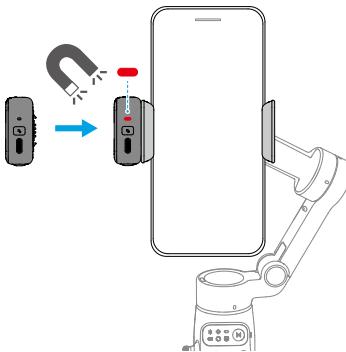
例①

自分の写真や動画を撮影する



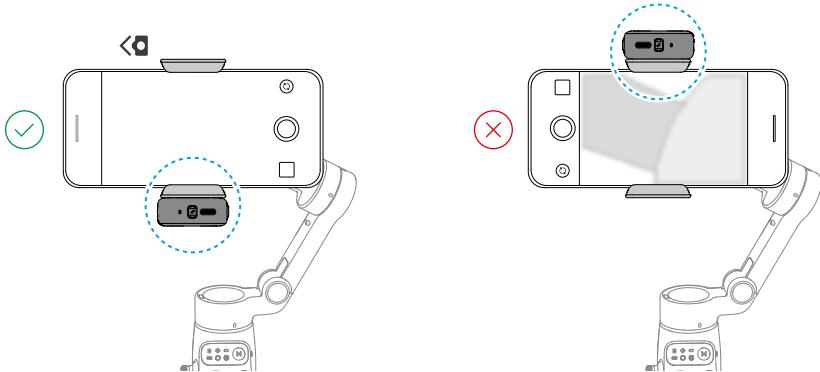
例②

他人の写真や動画を撮影する

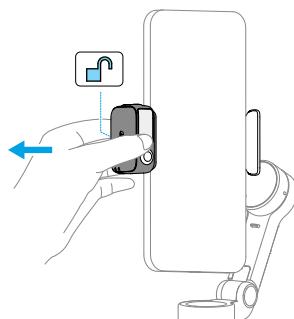


- 💡 • 多機能モジュールを装着した後、前図に示すインジケーターが点灯しない場合は、ジンバルとスマートフォンクランプのマークが合っているか確認してください。
- 多機能モジュールのアイドル状態が 5 分以上続くと、自動的にスリープモードに入り、インジケーターが消灯します。ジンバルのトリガーを押すと、スリープモードを終了します。

ランドスケープ（横位置撮影）モードで撮影するときは、背面カメラを遮らないようにしてください。



多機能モジュールを取り外す：



トラッキングと撮影

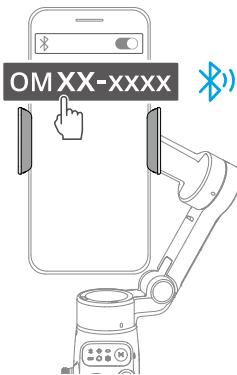
多機能モジュールを使用することで、DJI Mimo を使用する必要なく、システムカメラやサードパーティ製のカメラアプリでトラッキングを有効にすることができます。

- ⚠** • 多機能モジュールは、人物、猫、犬のトラッキングに対応しています。
- 多機能モジュールのトラッキングと撮影の機能は、DJI Mimo では無効になります。
- 💡** • 多機能モジュールのトラッキングカメラとスマートフォンのカメラを、被写体に向けます。例えば、以下のイラストでは、両方のカメラを使って自撮りをしています。
- ジェスチャー認識を最適化するには、被写体をトラッキングカメラから 0.5 m~3 m 離してください。

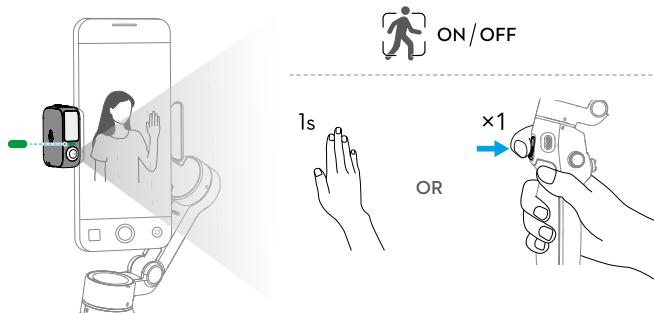
- トラッキング中は、被写体をトラッキングカメラから 0.5 m~8 m 離してください。

トラッキング

1. スマートフォンで Bluetooth を有効にして、ジンバルに接続します。



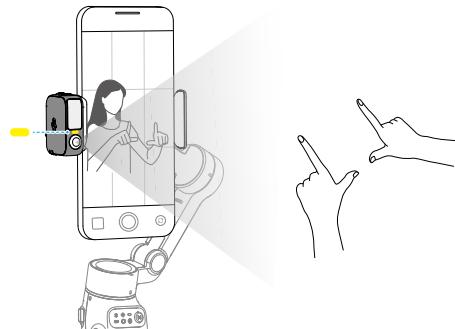
2. トラッキングを有効にする：カメラに のジェスチャーを見せるか、トリガーを押します。インジケーターが緑色に点灯します。



3. トラッキング中に必要に応じて構図を調整します。

- 方法 1：ジョイスティックを使用します。
- 方法 2：ハンドジェスチャーを使用します。

カメラに  のジェスチャーを見せます。インジケーターが黄色に点灯し、トラッキングが自動的に一時停止します。被写体はフレーム内の好きな位置に移動できます。



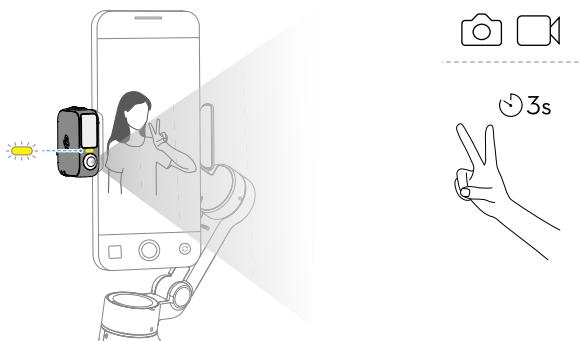
 のジェスチャーをもう一度見せて、構図を確定します。インジケーターが緑色に点灯し、トラッキングが自動的に再開します。

各方法で、構図をデフォルトに戻すには、トリガーを 2 回押します。

4. トラッキングを停止する：  のジェスチャーを見せるか、トリガーを再度押します。インジケーターが赤色に点滅します。

撮影

トラッキングが有効か無効かにかかわらず、 のジェスチャーを使用して、写真撮影や録画の開始／停止のカウントダウンを開始できます。カウントダウン中、インジケーターは黄色に点滅します。



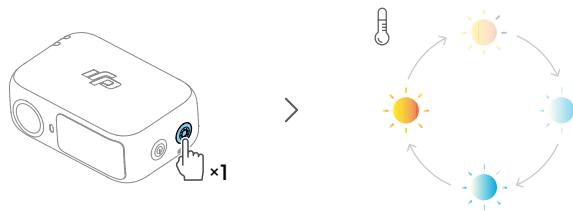
補助照明

多機能モジュールが適切に取り付けられていることを確認してください。

明るさの調整：

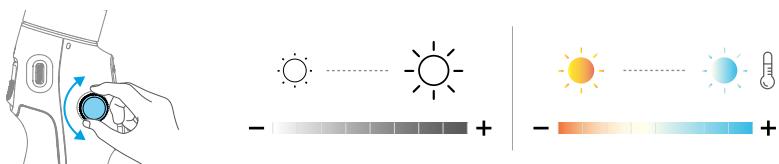


色温度の調整：



Osmo Mobile 8 により、サイドホイールを使用して多機能モジュールの補助照明を制御することができます。

- 長押し : 補助照明のオン／オフ
- 回転 : 明るさまたは色温度の調整 :



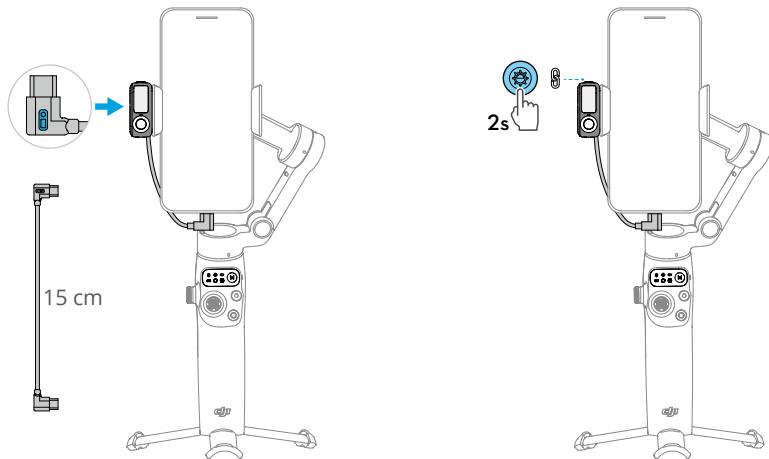
- 1回押す : 明るさと色温度を切り替えます
- DJI Mimo で 2回押す : サイドホイールを回転する効果を、フォーカス／ズーム制御または明るさ／色温度制御に設定します

ワイヤレスマイクとの接続

多機能モジュールは、2台のワイヤレスマイクトランスマッター（以下「トランスマッター」といいます）に接続することができます。2つのトランスマッターは同じモデルである必要があります。対応トランスマッター：

- DJI Mic 3
- DJI Mic Mini
- DJI Mic 2

1. 多機能モジュールをスマートフォンに接続
2. 多機能モジュールのBluetoothペアリングを有効にします。



3. トランスマッターの電源を入れ、リンクモードを設定します。詳細については、公式ウェブサイトで対応するマイクのユーザーマニュアルを参照してください。

- DJI Mic Mini / DJI Mic 3：レシーバーとのリンクモード。
- DJI Mic 2: Bluetooth 経由のリンクモード。

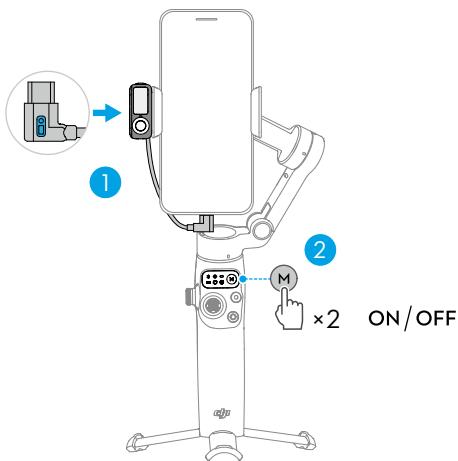
4. リンクが完了すると、多機能モジュールのインジケーターが緑色に点灯します。トランスマッターのインジケーターは、対応するモードでリンク状態に切り替わります。録画を開始できます。

- 💡**
- 多機能モジュールとスマートフォンを接続するケーブルがジンバルの邪魔にならないように、必要に応じてケーブルを曲げてください。パッケージに同梱されているケーブルを必ず使用してください。
 - iPhone 14以前のモデルでは、USB-C - Lightning ケーブル（別売り）が多機能モジュールとの接続に必要です。

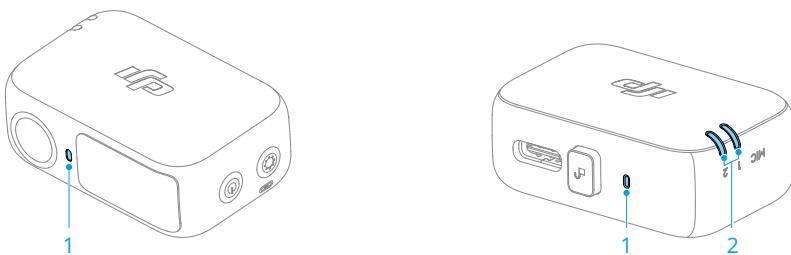
- DJI Mimo で、ワイヤレスマイクの設定を行うことができます。

スマートフォンの充電

- 💡 • ジンバルが十分に充電されていることを確認してください（インジケーターが または を表示します）。



インジケーター



1. カメラ ステータス インジケーター

	赤色点灯	トラッキングが無効、または被写体を見失いました
	緑色点灯	被写体をトラッキング中です
	緑色点滅	被写体を一時的に見失いました

	黄色点灯	構図を調整中です
	黄色に点滅	写真撮影や動画撮影のカウントダウン
2.ワイヤレスマイク ステータス インジケーター		
	緑色にすばやく 点滅	多機能モジュールがトランスマッターとペアリング中
	緑色にゆっくり 点滅	多機能モジュールがトランスマッターとペアリングさ れていますが、ケーブルを使ってスマートフォンに接 続されていません。
	緑色点灯	録音の準備完了
	赤色点灯	ペアリングしたトランスマッターのバッテリー残量が 10%未満
	黄色点灯	ペアリングしたトランスマッターのノイズキャンセル が有効

ファームウェアの更新

多機能モジュールが[適切に取り付けられている](#)ことを確認してください。

DJI Mimo を使用してジンバルのファームウェアを更新する場合、モジュールのファームウェアも一緒に更新されます。更新が完了するまでお待ちください。

4.2 Apple DockKit トラッキング

iPhone ユーザーは、NFC（近距離無線通信）経由でジンバルに接続し、Apple DockKit をベースにしたトラッキング機能を使用できます。多機能モジュールの必要はありません。この機能は、システムカメラとサードパーティ製アプリに対応しています。詳細な手順については、[チュートリアル動画](#)をご覧ください。

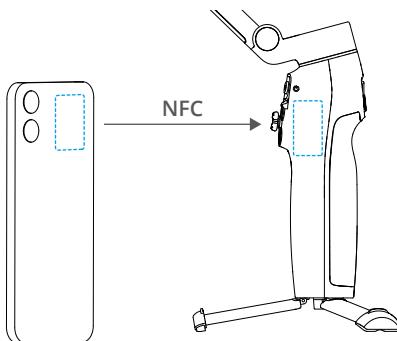
⚠ 機器要件 :

- モデル : iPhone 12 以降 (iPhone SE (第 3 世代) および iPhone 16e を除く)。
• システム : iOS 18.5 以降。
- この機能は、多機能モジュールのトラッキング機能または DJI Mimo のトラッキング機能と同時に使用することはできません。
- Apple DockKit をサポートするサードパーティ製アプリの詳細については、[互換性リスト](#)を参照してください。

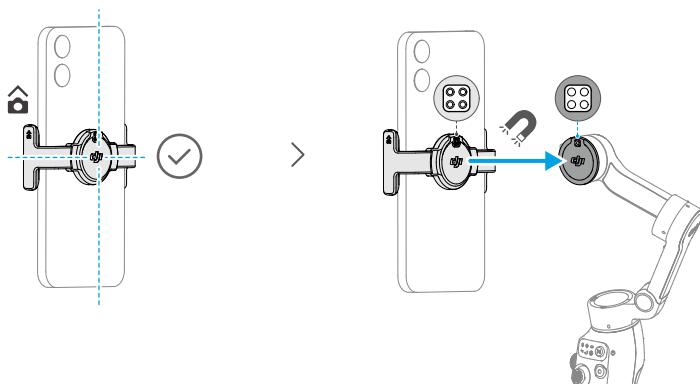
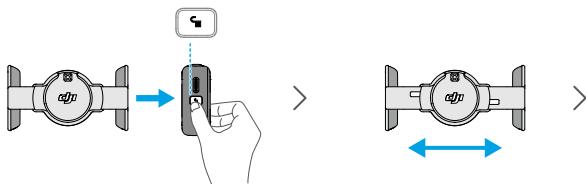
DockKit ペアリング

1. スマートフォンのロックを解除し、ホーム画面にとどまってください。ネットワーク接続が正常であることを確認してください。Bluetooth と NFC を有効にする。

2. ジンバルを展開する。スマートフォンの NFC エリアをジンバルの NFC エリアにかざす。
ポップアップウィンドウが表示されるまで待ち、指示に従う。



3. 多機能モジュールを取り外してから、スマートフォンをジンバルに取り付けます。



4. ペアリングが成功すると、ジンバルがうなずく。

💡 別のスマートフォンとペアリングするには、ペアリングする前に[ジンバルの Bluetooth をリセットしてください](#)。

トラッキングを有効にする

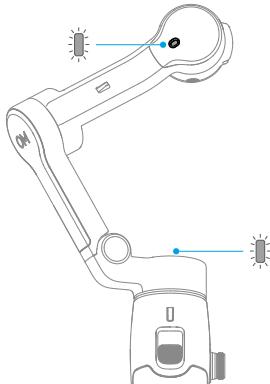
システムカメラを開くと、被写体がフレームに入ったときにトラッキングが自動的に開始される。

トリガーを 1 回押すと、DockKit トラッキングの有効／無効を切り替えます。

Apple Watch がスマートフォンとペアリングされている場合、リモートコントロールとして使用できます。*

* ウォッチには WatchOS 11 以降のバージョンが必要です。

機能ステータス インジケーター



DockKit ペアリングステータス^[1]

	—	白くゆっくり点滅	NFC 未ペアリング
	白くすばやく点滅	NFC ペアリング中
	—	白色点灯	NFC ペアリング済み

DockKit トラッキングステータス

	—	緑色点灯	DockKit は有効ですが、トラッキングしていません。 被写体がフレームに入ると、トラッキングは自動的に開始されます。
	—	緑色点滅	DockKit トラッキング
	○	オフ	DockKit 無効

[1] デフォルトで無効になっています。ステータスインジケーターの設定は DJI Mimo で変更できます。

4.3 スマートウォッチでリモート制御

Apple Watch で DJI Mimo を使用することで、カメラフィードを表示したり、ジンバルを制御したり、アクティブラックをリモートで有効にしたりできます。

1. スマートウォッチとスマートフォンをペアリングし、両方のデバイスに DJI Mimo をインストールします。
2. スマートフォンで DJI Mimo を起動して、ジンバルを接続し、カメラビューに入ります。
3. スマートウォッチで DJI Mimo を起動し、リモート制御を開始します。

-
- 💡 • Bluetooth の範囲内にデバイスを置いてください。
• 対応しているスマートウォッチデバイスについては、<https://www.dji.com/osmo-mobile-8/faq> をご覧ください。

5 メンテナンス

-
- ⚠️ • 製品が発火した場合には、水や砂、消火用毛布、乾燥粉末消火剤を使って消火してください。
- いかなる方法でも本製品の分解や穴あけを行わないでください。バッテリーの漏れ、発火、爆発が起こるおそれがあります。
-
- 💡 • 本製品のお手入れには、乾いた柔らかい布を使用することをお勧めします。
- スマートフォンが Osmo Mobile 8 に取り付けられているときは、スマートフォンのコンパス機能が干渉を受けることがあります。このような場合には、スマートフォンの指示に従いコンパスをキャリブレーションしてください。
- スマートフォンに近距離無線通信 (NFC) やワイヤレス充電機能がある場合、スマートフォンクランプ取付時、これらの機能は磁気の影響を受ける可能性があります。スマートフォンクランプを取り外すと、これらの機能に影響はありません。
- 内蔵延長ロッドには、スプリングが使われています。延長ロッドを 1 週間以上伸ばしたままにしておくと、スプリングが変形し、延長ロッドを正常に使用できなくなるおそれがあります。使用後は、延長ロッドを格納し、ジンバルを折りたたむようにしてください。
-

6 付録

6.1 仕様

詳細については、<https://www.dji.com/osmo-mobile-8/specs> でご確認ください。

6.2 スマートフォンの互換性

詳細については、<https://www.dji.com/osmo-mobile-8> でご確認ください。



連絡先

DJI サポート

本内容は予告なく変更される場合があります。
最新版は下記よりダウンロードしてください



<https://www.dji.com/osmo-mobile-8/downloads>

本書についてご質問がある場合は、DJI（DocSupport@dji.com宛にメッセージを送信）までお問い合わせください。

DJI と OSMO は、DJI の商標です。

Copyright © 2025 DJI All Rights Reserved.